

## 【部会・分科会活動報告】 2018年5,6月度

食品 安全 研究 会	食品微生物研究部会	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会：進捗なし。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 6/20 実技を含む講習会を島津/京都で開催予定だったが、大阪北部地震を受け延期。7/13 にキューピー（株）にて座学講習会を開催予定。</p> <p>(3) チルド勉強会 6/8 ILSI 会議室にて、今後の勉強会内容と活動に関する打ち合わせを実施した。</p> <p>(4) 検査法標準化プロジェクト：進捗なし。</p> <p>(5) NGS プロジェクト プロジェクトメンバーで参集し、東京海洋大学にて木村凡先生より最終原稿の内容についての報告会を実施した（5/31）。最終原稿について英文誌に投稿されたと ILSI Europe より連絡があった。 公開シンポジウムの開催に向け、準備を進めていく予定。</p> <p>2. 2018年度 第2回部会全体会議（5/22） 不二製油（株）阪南事業所で開催した。 30名+不二製油社員36名の計66名参加。 勉強会：「ロイコノストックとは？」神戸大 石川周先生、「高温性嫌気性芽胞菌への脂肪酸エステルの作用」元東洋食品研究所 青山好男先生の2講師から講演いただいた。</p>
	食品リスク研究部会	<p>1. ワーキンググループ活動</p> <p>1) 食品リスク評価新技術勉強会（WG2）：</p> <p>① ILSI Europe との動物実験代替推進に向けた協働：EUROTOX 直後の9/6-7、Brusselにて開催される WORKSHOP に向け、国衛研の協力を得ながら日本における食品分野のガイドラインが求める動物実験についてのまとめを ILSI Europe に提出した。</p> <p>② 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）とのカテゴリーアプローチに関する意見交換会を実施した（5/18）。事前提出した化合物事例について予測結果を議論した。17名参加。 参考）講習会の様子： <a href="https://www.nite.go.jp/chem/qsar/ILSI_20180518_qsar.html">https://www.nite.go.jp/chem/qsar/ILSI_20180518_qsar.html</a></p> <p>2) 食品リスク評価課題解決（WG3）：</p> <p>① 勉強会：桜美林大老年学総合研究所所長の鈴木隆雄先生をお招きし、「高齢者の健康と寿命の変化：科学的根拠を中心として」と題して勉強会を開催した。信頼性の高い臨床研究でのエビデンスに基づく高齢者の特徴について理解を深めた。10名参加。</p> <p>② 勉強会：東大医院 加齢医学／東大附属病院老年病科の秋下雅弘先生をお招きして勉強会を開催する（7/9）。</p> <p>2. 勉強会 本機構の中江理事をお招きし、8/6に下記勉強会を開催予定。 ・ 演題（仮）：安全性試験の意義、動物実験はなぜ必要なのか：医薬品開発の場合</p>
	香料研究部会	

バイオテクノロジー研究会		<p>1. 2018年度 第3回目会議を6月13日に開催</p> <p>(1) ERAプロジェクト調査報告 第39号の勉強会： ・10報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(2) GM微生物食品について： ・進捗報告なし。</p> <p>(3) GM作物について： ・遺伝子組換え食品等の安全性評価における次世代シーケンサーの活用に関する勉強会（2017年12月15日開催） 開催結果報告は発表者である齋藤先生より7月発刊の「イルシー（ILSI Japan 機関紙）」誌へ投稿準備中。</p> <p>・生物多様性影響評価に関する勉強会（2018年4月25日開催） 10月発刊の「イルシー」誌に投稿準備中。</p> <p>・「日本におけるGM作物のERAの歴史」12月の第41号ERA報告書と同梱し送付できるよう準備中。</p> <p>・2018年11月 ERA ワークショップ準備状況共有化 開催候補日は2018年11月7日-8日 登壇者、開催場所等を選定中。</p> <p>・ゲノム編集技術の最新動向についての勉強会 講師は2名程度を招聘しバイオ研究会の内部勉強会という位置づけで開催する計画を策定（2018年夏～初秋）。</p> <p>・2019 IS Biosafety Research (旧称：ISBGM) への講師派遣 リスク評価に造詣の深い有識者を5～6名派遣する計画を策定（2019年4月8日-11日）。</p>
栄養健康研究会	栄養研究部会	<p>1. 日本栄養士会雑誌への ILSI Japan シンポジウム開催案内掲載 ・第9回 ILSI Japan ライフサイエンスシンポジウム『健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合（2018年7月26日、東京大学弥生講堂一条ホールにて開催）』の聴講が日本栄養士会の生涯教育制度の研修単位に認定されたことから、同機関誌（7月号）へのシンポジウム開催案内の掲載手続きを実施した（5月）。</p> <p>2. 2018年度 第2回 部会を開催（6月1日） ・ライフサイエンスシンポジウム開催に向け、進捗状況について情報を共有するとともに、当日の役割分担について打合せした。 ・シンポジウム開催前に第3回目の部会を開催し、最終調整することにした。 ・第8回『栄養とエイジング』国際会議（2019年10月）のプログラム委員会の状況について、情報共有した。</p>
	GRプロジェクト	GR 多施設試験実施者会議 6/7 (ILSI 会議室) 追試準備
	茶類研究部会・茶情報分科会	
食品機能性研究会		
寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」		<p>・第Ⅲ期寄付講座（2013年12月開始、5年間）研究進行中。</p> <p>・9/18に総括シンポジウム開催予定。</p>
健康な食事研究	ワーキンググループ1 (WG1) 科学的エビデンスに基づく日本人にとっての健康な食事の概念構築	◆ 6月7日 第9回勉強会、東京大学佐々木研究室 報告書作成に関わる質問項目への回答と宿題の分担。 次回は8月1日を予定。
	ワーキンググループ2 (WG2) 外食・中食・給食の実態把握	◆ 7月10日 第4回ミーティング 惣菜業界の実情、考え方、インタビューする企業の候補等を惣菜協会からヒアリング。質問事項の整理。次回は7月27日。
	ワーキンググループ3 (WG3)	◆ 5月23日 長野県健康福祉部健康増進課を訪問し、「信州 ACE

会	健康な食事の伝え方開発と社会実装による効果検証	<p>プロジェクト」に対し、当 WG 勉強会での講演を依頼し、快諾いただいた。</p> <p>◆ 6月28日 リーダー・サブリーダー打合せ 今後の方向性と役割分担の確認。健康経営優良企業のヒアリング先候補の確認。</p> <p>◆ 7月24日 勉強会 長野県ヒアリング。次回は8月8日。</p>
	研究会全体	<p>◆ 5月17日 「健康な食事研究会」第5回全体会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各 WG リーダーから2月の成果報告会後の活動報告と今年度の活動予定を発表した。</li> <li>今後の全体会議の開催は当初の予定より1か月延期し、9月に第6回、12月に第7回と年内にあと2回開催する方向で調整中。</li> </ul>
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	<p>5/2 LiSM10!プログラム, 米国 NCI (National Cancer Institute) の RTIPs (Research-Tested Intervention Programs) Web サイトに掲載</p> <p>5/14 ビデオ「先輩に続け! いしのまきテイクテン~石巻専修大学の試み」YouTube 掲載</p> <p>5/22 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (石巻専修大学、南堺第四団地集会所)</p> <p>5/31 自主サークルなでしこテイクテン (中ノ郷信用組合立花支店、墨田区)</p> <p>6/6 介護予防「らくらく教室」講習会 (地域包括支援センター千住本町、足立区)</p> <p>6/19 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (石巻専修大学、南堺第四団地集会所)</p> <p>6/20 石垣プロジェクト報告会 (大日本印刷、品川区)</p>
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	6/7 ビデオ「乳幼児の栄養と食品衛生」「安全な水と衛生環境」のベトナム全国への配布計画 (2018-2022) に関し、ベトナム国立栄養研究所と合意
	Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	特になし
	CHP 全体	特になし
国際協力委員会	<p><b>委員会開催: 2018年6月7日(木) 10:00~11:20</b></p> <p><b>【議題】</b> 今年の BeSeTo 会議のテーマ等について</p> <p>1. BeSeTo 会議の開催日程、プログラム、サテライトシンポジウムのテーマ、日本からの演者の件について。 事務局から以下が委員に対して報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日程は9月13-14日、場所は THE HOWARD PLAZA HOTEL TAIPEI にて、台湾支部のホストで開催する。</li> <li>● 会議のプログラムの枠組みは従来通り4つ。 “Food safety issues and/or incidents” “Risk assessment” “Regulatory issues” “Branch collaboration”</li> <li>● サテライトシンポジウムは全支部の希望を集約した結果、以下のテーマで開催することとなった。 “The practical implementation of food microbiological criteria</li> </ul>	

	<p>by regulatory authorities with focus on the sampling plan risk management”</p> <p>日本からの演者として、山口大学の豊福肇先生に依頼をしてご快諾をいただいた。豊福先生には、オーバービューと共に我が国の状況についても併せてご紹介いただく予定である。</p> <p>2. BeSeTo 会議での日本支部からの発表テーマについて</p> <p>議論の結果、候補としては5つ挙げられた。</p> <p>5つ中4つが <b>Regulatory issues</b> に集中していた。</p> <p>出席できなかった委員も含めて、引き続き全員に対しテーマを募集し次回の会議で議論することとした。</p> <p>発表テーマによっては委員以外の演者を依頼することになるため、早くテーマを決める必要がある。</p> <p>次回会議は、7月5日(木)の15:00~17:00の予定。</p>
情報委員会	<p>1. 委員会開催2回(5,6月)</p> <p>2. ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常業務としての更新(随時)</li> </ul> <p>3. 「栄養学レビュー」誌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 26巻3号(通巻100号) : 5/10刊行</li> <li>・ 26巻4号(通巻101号) : 監修、編集(8/10刊行予定)</li> <li>・ 5/28編集委員会開催(通巻102号の採択論文・翻訳者候補決定)</li> <li>・ 27巻1号(通巻102号) : 翻訳(11/10刊行予定)</li> </ul>
編集部会	<p>4. 「イルシー」誌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 134号 : 5月刊行</li> <li>・ 135号 : 原稿編集(8月刊行予定)</li> <li>・ 136~138号 : 原稿依頼検討</li> </ul>

## 【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会
第9回ライフサイエンスシンポジウム	<p>「健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合—基礎研究から応用研究まで—」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 : 2018年7月26日(木) 9:00-17:45</li> <li>・ 場所 : 東京大学弥生講堂一条ホール</li> </ul>	栄養研究部会

## 【事務局からのお知らせ】

理事会	開催なし。
事務局	特定非営利活動促進法の改正による、貸借対照表の公告の義務化に伴い、昨年度の貸借対照表を6月22日に弊機構のホームページ上に掲載。